

消費税、集团的自衛権、原発、新基地…

聞く耳もたない 安倍暴走政治

安倍政権が進めている政治は、集团的自衛権、消費税大増税、原発再稼働、沖縄の新基地建設など国民の多数の願いに反するものばかりです。ところが国民の批判に耳を傾

ける姿勢はまったくなし。異論を切り捨ての強権体質が際立っています。

平和、民主主義、暮らしを壊す戦後最悪の内閣。安倍政権打倒へ力をあわせましょう。



「亡国の政治」にレッドカード!

安倍政権打倒の国民的大運動をよびかけます

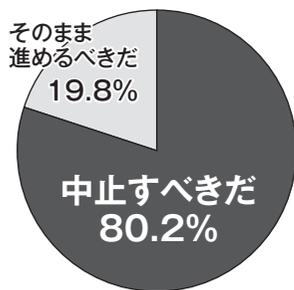


米軍新基地

反対の民意切り捨て

辺野古への米軍新基地が争点になった沖縄いっせい地方選挙（9月7日投票）。地元・名護市議選で新基地反対派が過半数を占めました。ところが政府は「知事が埋め立てを承認し粛々と工事を進めており、もう過去の問題だ」と民意を切り捨てました。

辺野古新基地建設



琉球新報 沖縄テレビ放送合同調査 (8月23、24両日実施)

名護で4度目の審判

名護市では、この4年半に市長選と市議選が2回ずつ行われ、いずれも新基地反対の稲嶺市長が勝利し、市長与党が過半数を占めました。「沖縄の方々の気持ちに寄り添う」というのなら、新基地建設は断念すべきです。

原発再稼働

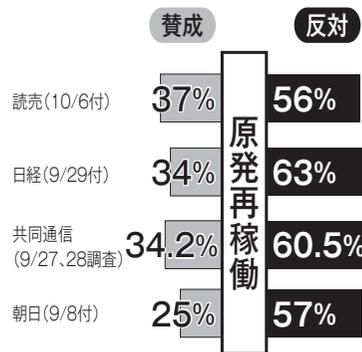
電力不足なのに

今年の夏は商業用原発が電力供給を開始して以来、はじめて「稼働原発ゼロ」の夏になりました。だが、電力不足はどこにも起きませんでした。しかし安倍政権は、原発を永久に使い続ける「エネルギー基本計画」を決め、九州電力・川内（せんだい）原発を突破口に再稼働へ暴走しています。



九州電力・川内電力

5~6割が反対



川内原発 噴火予知ムリ

御嶽山の噴火で火山被害の心配が高まっている川内原発。原子力規制委員会は、巨大噴火を数年単位で予知し、その時点で原子炉を止め燃料棒を運び出すとしています。

しかし専門家から「噴火予知は無理」との意見が噴出しています。「予知できる」という新たな「安全神話」で再稼働強行は許されません。